

M05a 極域におけるコロナの「活動度」の性質

久保真治・日江井榮二郎 (明星大)

従来は中低緯度の活動度は様々な観点から調べられてきたが、本発表では SXT 像の平均 DN 値を陽光の観測開始から 1995 年半ばまでの約 3 年半のデータを用い、太陽の極域におけるコロナの「活動度」の性質について調べた。そこで本発表では以下について議論する。

- 1) 平均 DN 値の変化に周期性が見られた。
- 2) 北半球と南半球とでは約半月のずれが見られた。
- 3) 北半球と南半球の活動の周期性について調べた。
- 4) 平均 DN 値のピークの南北非対称性と黒点の南北非対称性の対応について調べた。
- 5) 平均 DN 値の変化の周期性から自転速度を調べた。